

市教委 教職員の賃金改善へ 「人事委員会に働きかけを強化」

市高教組は1月19日(木)、京都市教育委員会(吉武総務課担当課長)と冬の単組交渉を持ちました。 **以下、交渉概要の報告**

賃金 市教委は冒頭、本市の財政が厳しく、賃金カットを行っていることについては「心苦しい思い」と述べ、その後の組合とのやりとりにおいて、「教育活動に影響があるところについては死守していきたい」と表明しました。

賃金改善について市教委は、「近年、確実に人事委員会に対する働きかけを強めている。府市の格差について、人事委員会も今は教育委員会と協力して何とかしたいとの姿勢を見せている」と述べました。組合も2017年以来人事委員会に対するとりくみを強めてきており、成果につなげたいものです。

査定評価 冒頭の回答は「見直しは考えていない。書面で開示し、必要ならば口頭で丁寧な説明をしていく」というものでした。さらに市教委は、「評価者による評価が偏っているとの認識は持っていない」とも述べました。

組合から、「4年間続けて高評価(優秀)なし」「申し立てをしても納得できる回答は返ってこない」「口頭で丁寧な説明というが、今の忙しい学校現場においてそんな時間が取れる状況ではない」など、納得性に欠け、モチベーションが上がるどころではない実態があることを指摘しました。また、政府が国家公務員について、「職員の納得感が得られやすいというメリットがあり、人材育成に効果があるとされているので、国としては絶対評価を採用している」と答弁していることも紹介しました。

市教委は見直し協議を渋っていましたが、「課題・問題について組合と十分協議する」として導入した制度だ、との追及に対し、「協議するのが嫌だということではない、市教協マターとして対処する」と答えました。

働き方 「各種の通知や調査については精選し、各校の好事例を発信して環境整備していく。合同説明会は府市校長会の要望。施設業務や奨学金申請業務については校内で議論を」との冒頭回答でした。

「各校の好事例とはどんなものか」の問いには回答はありませんでした。秋の合同説明会について、「府高や中学の校長会は望んでいるかもしれないが、市高としては効果を疑問視する校長は複数いるはず。実際こういう具体的な疑問がある」と指摘すると市教委は「そういう意見をあげてほしい。校長会では聞いていない。議論してほしい」と述べました。また、今の働き方が残業手当にしたらどれくらいの額になるのかとの試算も、働き方見直しを推進するきっかけになるのではないかと指摘には、市教委は「数字が独り歩きする」と拒みました。定年延長に伴い、部分休業制度の改善要求について、「現時点ではこれ以上の回答は困難だが検討はする」というものでした。

各分会から 塔南から、「定員はこのまま」との話も聞いているが、それでは講座展開ができない危険性を具体的に説明しました。また、移転が学期途中という特殊事情、開建高校生はもちろん塔南高校生にも十分な教育の保障をと訴えました。市教委は「塔南高校の生徒会ががんばっている。校長から人事課へ状況は伝わっているが、今聞いたこともお伝えして共有していきたい」「状況はよくよくわかっている。英知を絞っている」との答えがありました。

堀川からは、外向きのとりくみを常勤講師が支えている実態を示し、採用試験の実施について求めました。市教委は堀川の実態については指摘の通り認識しており、採用試験についてもとりくむ姿勢を見せました。紫野からは多数の病休者が出ていることを指摘、市教委はしっかり内容を聞いて対処したいと述べました。美工の移転について、西定の教職員の異動について、奏和のビジテックを担う教員についてもやりとりしました。

月単位の勤務時間の割り振り変更において、スクールカウンセラー・コーディネーターの業務が対象になっていない問題について市教委は、「(その他)として対象業務となる」と回答し、各校にはこれから通知すると述べました。

カズレーザの回答がニュースに 2022年12月27日(火)配信

昨年12月24日に更新されたカズレーザの「コメント返し」がニュースとして配信されました。相談された悩みは、「現役で教員をしています。正直、毎日12時間以上労働をしており、かなりしんどい思いをしています。カズレーザさんはあと何年くらいで、教員の働き方の現状が改善されると思いますか?」というもの。

「改善はむずかしいんじゃないですかね」と切り出したカズレーザは、「生徒の親御さんたちが教師に求めているものがそれぞれ違うのでどんどん雪だるま式に仕事は増えていきますよね」「それを文部科学省が(教員がどこまで対応すべきなのか)決めてくれない限りは、仕事はまだ無限に増えていくんじゃないかな」。どこまでを教員の業務とするかを文部科学省が決めない限り改善はされないのではと回答を締めくくった。

市高教組 旗びらきを開催

市高教組は1月7日、2023年の旗びらきを開催しました。

それぞれが職場の様子や今年の抱負などを出し合う中で、共通の趣味が判明して盛り上がったケースもありました。ひとりで悩まずに、他の学校や他の教職員の様子を参考に、自分の今後を考えていく、いい触れ合いができたのではないかと思います。

ささやかな抽選会も楽しみました。

